

第 52 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2014 年 5 月 20 日（火） 13:30～15:30

2. 場 所：機械振興会館 102 号会議室

3. 出席者（役職／氏名順、敬称略）

	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	副議長	檜山 爲次郎	日本化学会	出
3	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
4		札野 順	日本工学教育協会	出
5	委員	狼 芳明	日本機械学会	出
6		橋本 義平	日本技術士会	出
7		宮越 直樹	日本原子力学会	出
8		酒井 祐之	電気学会	出
9	アドバイザー	長島 昭	元議長	出
10		池田 駿介	元議長	出
11	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出

4. 議題

- ①第 51 回技術倫理協議会議事録(案)について（審議）（技倫資料 52-3）
- ②委員の交替について（審議）（技倫資料 52-8）
- ③今年度の公開シンポジウムについて（審議）（資料なし）
- ④日本工学会技術倫理協議会規程の見直しについて（審議）（技倫資料 52-4）
- ⑤WECC2015 の企画について（報告）（技倫資料 52-5）
- ⑥日本工学会 2014 年度事業計画等について（報告）（技倫資料 52-6-1～4）
- ⑦各学協会活動報告（報告）（技倫資料 52-7）
- ⑧次回協議会の日程について
- ⑨その他

5. 配布資料：

- 技倫資料 52-1：第 52 回技術倫理協議会 議題表
- 技倫資料 52-2：第 52 回技術倫理協議会 出欠表
- 技倫資料 52-3：第 51 回技術倫理協議会 議事録(案)
- 技倫資料 52-4：日本工学会技術倫理協議会規程の見直しについて
- 技倫資料 52-5：WECC2015 全セッション構成、オーガナイザー、座長リスト
- 技倫資料 52-6-1：平成 26 年度事業計画
- 技倫資料 52-6-2：平成 26 年度正味財産増減予算書・内訳表
- 技倫資料 52-6-3：平成 25 年度事業報告 2014.04.25
- 技倫資料 52-6-4：平成 25 年度決算書(正味財産増減計算書・内訳表)
- 技倫資料 52-7：第 51 回技術倫理協議会 会員活動報告
- 技倫資料 52-8：2014 年度技術倫理協議会委員名簿

6. 議 事

①前回議事録案の確認（技倫資料 52-3）

- ・原案通り了承。

②委員の交替について（技倫資料 52-8）

- ・日本機械学会の夏恒委員から狼芳明委員への交替が了承された。

③今年度の公開シンポジウムについて

- ・昨年度日本工学会加盟学協会へアンケートを実施した結果として、3～4の学協会から技術倫理協議会の支援をお願いしたいとの要望があったので、今年は具体的なアクションを行い協議会のメンバーを増やしたい。
- ・日本工学教育協会では技術者倫理教育に関する学習・教育モジュールの分類を「4領域 22項目」から「2領域 4カテゴリ-22項目」に変更した目標リストを設定した。
- ・各学協会の倫理綱領がお飾りになっているのではないかとの意見もあり、会員に対してどのように周知・教育していくかの目標や行動指針を作る必要がある。
- ・各学協会でも倫理綱領の周知・教育をどのようにしているかを調査して、倫理教育プログラムの紹介をすることも意義あることである。
- ・海外ではいろいろな動きがあるので、それらの紹介をする価値はある。
- ・次回の協議会でテーマおよび講師候補を決定する。

④技術倫理協議会規程の見直しについて（技倫資料 52-4）

- ・協議会発足から10年経ち、状況は様変わりしている。
- ・協議発足時の意志を引き継ぎ、伝承する必要がある。
- ・協議会と類似する団体は存在していないので、協議会の存在感が見えるようにする必要がある。
- ・協議会はユニークな団体であり、技術倫理に取り組んでいることを世の中に示した方が良い。

⑤WECC2015の企画について（技倫資料 52-5）

- ・特になし。

⑥日本工学会 2014年度事業計画等について（報告）（技倫資料 52-6-1～4）

- ・特になし

⑦次回協議会の日程について

- ・日本分子生物学会の大隅先生が最近倫理について発信されているので、次回の協議会に講師と呼んだ方が良い。
- ・鶴原幹事が大隅先生にコンタクトする。
- ・次回協議会は、7月22日（火）14:30～17:00とする。

⑦その他

- ・各委員に今年度の委嘱状を事務局から送付することとする。

⑧会員活動報告（技倫資料 52-7）

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<ul style="list-style-type: none">・4月16日に平成26年度第1回倫理委員会教育WGを開催し、2014年9月発行予定の「技術者倫理事例集（第2集）」の製作進捗状況、8月開催倫理研修会の検討等を行った。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none">・2014年8月に第7回技術者倫理研修会を予定・倫理委員会：電気学会誌 特集記事の提案 「技術者倫理教育の最近の取り組み（案）」・2014年9月倫理委員会において、渡部孝男氏（東北電力 常務）講演を予定

2	電子情報通信学会	<ul style="list-style-type: none"> ・技術と社会・倫理（SITE）研究会を情報処理学会と共催して下記日程にて開催予定。 日時：2014年7月3日（木）、4日（金） 会場：函館市勤労者総合福祉センター（サン・リフレ函館） http://www.ieice.org/~site/
3	土木学会	5月の理事会において、「土木技術者の倫理規定」の改定が決定した。「倫理綱領」と「行動規範」という構成となった。今後は、副読本の作成、英語版の作成、倫理プログラムの開発などを検討してゆく。
4	日本化学会	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の論文および研究不正の報道に鑑み、5月末の新旧会長引き継ぎの機会に、「日本化学会会員行動規範」と「日本化学会会員行動規範（補遺）・行動の指針」にもとづいて行動するよう会員に呼びかけることになった。
5	日本機械学会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年9月の日本機械学会2014年次大会にて開催予定のワークショップ「白熱教室：ロボット倫理・生命倫理を考える」を企画している。 ・日本機械学会誌2015年5月号の技術倫理に関する特集号記事の内容を検討している。
6	日本技術士会	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回倫理委員会（4/17）を開催し、3小委員会の活動報告。倫理研修用教材（PPT）、第2回技術者倫理WS計画（11/9、福岡）、月刊「技術士」応用倫理シリーズ計画について議論。 ・第6回技術者倫理シンポジウム（5/21）。 テーマ：社会的責任（SR）と技術士の果たす役割 講師： 損保ジャパン CSR部 上席顧問 関正雄氏 経団連 政治社会本部長 斎藤仁氏 技術者倫理研究会 杉本泰治氏 パネリスト：コマツ 元専務 北川則道氏 日立製作所 元取締役 永田一良氏
7	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理綱領日英改訂2014年版：6/23総会で採択予定。 ・海外高等教育機関対象に、技術者倫理教育の状況と「技術者倫理教育における学習・教育目標」についてアンケート調査実施。（分類を4領域22項目⇒2領域4カテゴリー22項目に変更） ・大会講演会@広島大学：8/29倫理OS「グローバル化時代の技術者倫理教育」5講演+WS実施予定。 ・12/6（土）：第2回国際WS，12/7（日）：第15回WS企画@東京虎ノ門

(以上)